



Noguchi Times

Vol. 19 2017.7.13



浅野嘉久勇退並びに服部良新代表理事就任記念会にて

CONTENTS

■野口医学研究所ゆかりの地をご紹介する『All About Philadelphia』		p2
■Jefferson Japan Week		p3
■管理栄養士スキルアップ研修報告		p4
■ベトナム国立ダラット大学客員教授表彰式		p5
■浅野嘉久勇退並びに服部良新代表理事就任記念会		p6
■フィラデルフィア小児病院に於ける研究者募集のご案内		p7
■アベ・腫瘍内科・クリニックのご案内		p7

All About Philadelphia

野口医学研究所ゆかりの地をご紹介します

米国財団法人野口医学研究所が本部を置くペンシルバニア州フィラデルフィア市は、独立宣言が為された合衆国誕生の地として有名です。

野口医学研究所と深い関わりのあるフィラデルフィアについて、連載でご紹介していきます。

バレーフォージ国立歴史公園 (Valley Forge National Historical Park)

Valley Forgeは、アメリカ独立戦争時、ジョージ・ワシントン将軍の指揮下にあった1万人を超える大陸軍が、フィラデルフィア占領中のイギリス軍と対峙して宿営した場所です。1,457ヘクタールにも及ぶ広大な敷地内には当時兵士達が使用していた寄宿舍や砲台などが再現されており、独立戦争時の兵士達の過酷な生活環境を伺い知ることができます。

旅程に余裕がある時は是非訪れて頂きたい場所の一つです。



独立戦争時を再現した砲台

シュガーハウス (Sugar House)

2010年にフィラデルフィア市の財政を潤すことを目的としてオープンした24時間営業のカジノスポットです。ここには各種のカジノゲームが取り揃えられているだけでなく、レストランやその他のエンターテインメントも充実しており、カジノ好きに限らず、誰でも賑やかで活気溢れる雰囲気を楽しむことができます。

私達「野口」のスタッフも時々“社会勉強の為”に訪れています。皆さんも、フィラデルフィアを訪れた際は是非シュガーハウスで運試しをしてみたいでしょうか？



シュガーハウス外観のロゴ

Jefferson Japan Week

2017年5月2日～4日 於：Thomas Jefferson University
(TJU：トーマス・ジェファソン大学)



TJUの医学交流に関わる先生方と関係者

米財「野口」は、創立当初から、多くの日本人医師や医学生をThomas Jefferson University Hospital (TJUH：トーマス・ジェファソン大学附属病院)に研修生として送り出しています。2012年1月には、地域医療振興協会と提携し「Japan Center」を設立しました。今回は「Japan Center」の設立5周年を記念して「Jefferson Japan Week」が開催され、日本で活躍されている現役医師による講演会やワークショップが行われました。

「Japan Center」設立の目的

- 1)日本の医療従事者の育成
- 2)TJUと日本の病院における交換留学
- 3)日米間の共同研究



《当日参加者に配布された資料》

5月2日 (火) Opening Ceremony

Dr. Yoshihisa Asano Lecture



浅野 嘉久
米財「野口」創業者・名誉理事



北村 聖
国際医療福祉大学 医学部長

Award Ceremony for Drs. Asano and Gonnella



① Mark L. Tykocinski TJU 医学部長
② Charles A. Pohl TJU 副医学部長



30年以上に亘る日米医学交流の貢献に対し、TJUから浅野嘉久に記念品が贈呈されました。

5月3日 (水) Lecture and Workshop

Dr. Joseph S. Gonnella Lecture



Joseph S. Gonnella
TJU 名誉医学部長



加我 君孝
東京大学 名誉教授

Award Ceremony for Dr. Kenichiro Hasumi



③ 佐藤 隆美
野口医学研究所 評議員会長
④ Neal Flomenberg
TJUH 腫瘍内科 科長



蓮見 賢一郎
医療法人社団珠光会 理事長

蓮見教授の20年以上に亘るがん研究支援が表彰され、大学内に「Kenichiro Hasumi, MD lab」が設立されました。

5月4日 (木) Panel Discussion and Closing Ceremony

次号では、Dr. Yoshihisa Asano Lectureの講演内容についてご紹介します。



管理栄養士スキルアップ研修

1週目：2017年6月5日～9日 2週目：2017年6月19日～23日

於：株式会社めいとケア



今年度4月に社団「野口」に入社した3名の栄養士・管理栄養士が、介護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、住宅有料老人ホーム、グループホーム等13施設を運営する㈱めいとケアで研修を受けました。

入居者に安心して生活を過ごして頂く為の工夫

住

思いやりのある暮らしについて

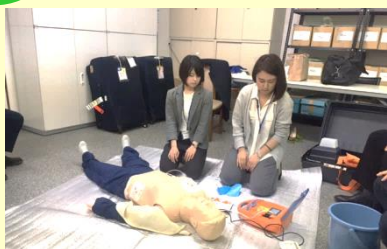
㈱めいとケアでは、入居者が安心した毎日を送れるよう、従業員教育として、挨拶や振る舞い、食事の配膳等の接遇マナーを重視している。



《㈱めいとケア本部：グランドめいと北小金井》

生

救急時と災害時の対応について



《救命講習の様子》



《避難確認のシール》

医療従事者が少ない高齢者施設では、心肺停止状態等の緊急時、職員が救急措置を行えるよう、救命講習が義務化されている。

また、「めいと上本郷」では、災害時に、入居者が部屋の外へ避難したことを確認する為、確認済の部屋にシールを貼って対応するすることを徹底している。

心

居心地の良い環境について



体操やカラオケ、誕生日会等、各施設毎にイベントを設け、日常の中に楽しみを見出すようにしている。また、「グランドめいと松戸」では、アロマセラピーやドッグセラピーを取り入れ、心を癒す時間を設けている。



《イベントカレンダー》



《アロマ&ドッグセラピーのポスター》

食

元気の源となるお食事について



入居者様にお食事を楽しんで頂く為に、嗜好性や栄養面が考慮された献立が考えられている。また、食堂カフェやパンケーキ作り等、食のイベントも開催されている。



《行事食のポスター》



《6/19 中華の献立》

2週間の研修を終えての感想



《「グランドめいと松戸」の家庭菜園》

今回の研修では、栄養士業務だけでなく、接遇研修や救命講習にも参加させて頂き、介護施設での業務について幅広く習得することができた。他社で研修をさせて頂く機会は中々ないので、本当に貴重な経験をさせて頂いたと思う。今後は、自身が行う業務の中で、研修で学ばせて頂いた事をしっかり活かせるよう心掛けていきたい。



ベトナム国立ダラット大学 客員教授表彰式

2017年6月16日（金） 於：ベトナム国立ダラット大学

米財「野口」創始者・名誉理事の浅野嘉久が、ベトナム国立ダラット大学の客員教授として招聘され、国際学部 日本語学科の学生に向けて特別講座を実施しました。



《客員教授として表彰された3名》

（中央）松岡 徳浩：医療法人 津樹会 理事長
（右）川上 浩司：京都大学 大学院医学研究科
社会健康医学系専攻 薬剤疫学分野



《ダラット大学校舎》

ダラット大学は、ベトナムダラット市に設立された国立大学で、緑に囲まれた小高い丘の上に位置している。
今回浅野嘉久が特別講座を行った国際学部（1～4年生）は、以下4つの学科に区分され、計1,100名の学生が所属している。

国際学部	韓国語学科…	500名
	日本語学科…	400名
	ベトナム学科…	60名
	国際学科…	140名



《学生に向けて講演する浅野嘉久》

客員教授の表彰式後、日本語学科の3、4年生160名を対象に「日本研究集中講座」と題して、勉強会が行われた。
浅野嘉久は『野口医学研究所の歩み』をテーマに、野口英世博士の一生と米財「野口」の医師教育概念の変遷を伝えた。
学生は、未だ日本語の習得過程ではあったが、熱心に耳を傾けていた。



《奨学金授与の様子》

米財「野口」からは、ダラット大学へ奨学金を寄付した。

浅野嘉久勇退 並びに 服部良新代表理事就任記念会

2017年7月3日（月） 於：日比谷松本楼

米財「野口」創立以来、浅野嘉久は35年間に亘りトップリーダーとして「野口」グループを牽引して参りましたが、この度2017年6月末日を以って社団「野口」代表理事を勇退し、後任に服部良が就任することとなりました。浅野嘉久の勇退並びに服部良の新代表理事就任を記念し、2017年7月3日、日比谷松本楼にて祝賀会を執り行いました。

浅野 挨拶

1982年、私は恩師である浅倉稔生先生からの誘いをきっかけとして「野口」を創立し、日米の医学教育&交流の促進に注力してきました。35年の間には様々な困難がありましたが、それでもこうして「野口」を支えてこられたのは、偏に「（貴方の創立した財団なのだから）貴方の好きなようにやりなさい」と見守り続けて下さった蓮見賢一郎先生、阿部博幸先生、渡辺和夫先生のお陰だと深く感謝しています。後進となる佐藤隆美先生にも私から同じ言葉を送り、今後の「野口」を正しい道に導いて頂きたいと願っています。皆様、有難うございました。



6月末を以って勇退した浅野嘉久と祝辞を述べる為にアメリカから駆け付けた佐藤隆美米財「野口」評議員会会長



服部 挨拶

偉大なる創業者の後任として、「野口」グループの中心的組織である社団「野口」の代表理事という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。幸いなことに、社団「野口」の事業は現在順調に推移しています。今後も業績の向上を目指し、「野口」グループの発展に努める所存です。浅野氏には、今後も社員総代・相談役として、引き続きご指導頂きたいと考えています。又、目標達成の為に皆様様の協力が不可欠です。全力を尽くして職務を全うしたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ー ご出席頂いたゲストの方々 ー

佐藤隆美先生（米財野口評議員会会長、TJU教授）／蓮見賢一郎先生（米財野口筆頭評議員、医療法人社団珠光会理事長）／阿部博幸先生（米財野口評議員、医療法人社団博心厚生会理事長）／阿部みな子先生（医療法人社団博心厚生会副理事長）／渡辺和夫先生（米財野口評議員、千葉大学名誉教授）／佐藤俊彦先生（NPO野口専務理事、㈱AIIM JAPAN代表取締役）／北村聖先生（NPO野口理事、国際医療福祉大学医学部長）／耳塚信夫様（米財野口理事、タイセイグループ会長）／安井一正様（米財野口参与会名誉会長、㈲マックスネットワーク代表取締役）／安東恭助先生（米財野口参与会会長、医療法人社団ニコニコクラブ理事長）／古川直先生（社団野口顧問弁護士）／山崎豊先生（NPO野口理事、社団野口顧問薬剤師）



The Children's Hospital of Philadelphia

研究者募集のご案内



米国財団法人
野口医学研究所
Noguchi Medical Research Institute Since 1983



Mizuno Research Fund
Post-Doctoral Fellowship Program for Japanese Researcher

米財「野口」は、米国ペンシルバニア大学・小児科・フィラデルフィア小児病院（CHOP）との提携により、研究者支援基金を準備することとなり、2017年6月1日より、CHOPに於ける研究者の募集を開始しました。



《研修対象の科》 : 血液学

《研修期間》 : 2018年から1～2年間
※希望する研究内容によって異なる。最大2年間。

《助成内容・金額》 :

- ・滞在費 \$50,000/年 (分割して毎月支給)
- ・渡航費及び学会参加費 \$5,000

※研究に関わる諸費用は、別途研究室が負担します。

応募締切：2017年7月31日

★応募資格等の詳細はHPをご覧ください→

米国財団法人野口医学研究所

検索

— 野口医学研究所の提携クリニック —



アベ・腫瘍内科・クリニック

ABE CANCER CLINIC



米国財団法人野口医学研究所評議員の阿部博幸先生
が理事長を務めるがん治療専門のクリニックです。

アベ・腫瘍内科・クリニックは、免疫細胞療法を中心としたコア治療でがんの根治を目指しています。又、あらゆる意味において患者様の負担が軽減され、癌治療の効果がより高くなるよう、がん治療の臨床・研究に取り組んでいます。

ご相談は「野口医学研究所」まで



Facebook & アメーバブログ

 いいね! & コメントお待ちしております!

交流会公式Facebook

浅野嘉久公式サイト



浅野嘉久

検索

NOGUCHI TIMES Vol. 19

発行日 2017年7月13日
発行人 浅野 嘉久
編集 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-13
代表電話 03-3501-0130
一般社団法人野口医学研究所
<http://www.noguchi-net.com>
